

風の効用



深谷市長
新井家光

暑い日差しの中を歩いていて、緑の木陰を見つけると、自然と足早になります。「緑陰」は涼しげな安らぎの空間です。そこで吹く風は、何とも体に優しく囁きかけます。

近年はその空間が減ったせいでしょうか、暑さが体を刺します。それを少しでも和らげてくれるのが先に触れた「風」です。ただ、風は待っていてもなかなか吹いてくれません。何とか人工的に吹かせられないものかと、知恵を絞って出来たものが扇風機です。

古くは天保三年（1832）に出版された、柳亭種彦の「修紫田舎源氏」に団扇を放射線状に配列し、轆轤で回す元祖扇風機が登場します。また、正岡子規は病床にあって、「風板」と呼んだ扇風機で暑さを凌ぎました。弟子の河東碧梧桐が、布を垂らした竹の棒を天井からつり下げ、紐を引っ張ると布が揺れて風が起る扇風

機を作ってくれたというのです。子規の「病牀六尺」中の挿話だと、先日の新聞で触れていました。

こうした話を聞くと、昔も暑かったんだと妙に納得してしましますが、逆に言うと当時はこの程度でも暑さが凌げた時代だったといえるかもしれません。確かに戦前の小説に出てくる扇風機の描写には「寒い」という表現が見られます。当時と今では相当の気温差があるのが分かります。

数年前、夏の盛りに市内の小学校を訪問した時、1年生の教室で、頭から水をかぶったように汗をかいている子どもたちを見掛けたことがあります。その光景を目の当たりにした時、精神論ではもはや片付けられる問題ではないと感じました。精神と対峙する物質で対抗せねばなりません。

先の正岡子規は「風板」について、看病する妹の律に呼び掛ける一首を詠んでいます。子規は「風板」が夏の季語になるのではないかと大喜びだったそうです。それほど普及すると直観したのでしょうか。確かに風板=扇風機は今の生活に溶け込みました。風の効用は思いのほか絶大です。風は涼しさの原点です。

風板引け 鉢植えの花 散るほどに

正岡 子規



また、この事業は、世界的な経済不況の影響を受け、消費が落ち込んでいる市内経済の支援策も兼ね、6月から随時実施しています。

これは、市内全小中学校の普通教室に扇風機を4台設置するものです。

■設置数内訳
小学校19校 1,142台
中学校10校 498台
■予算額 6,856万円（小中学校併せて）

■問い合わせ 教育総務課（574-5811）へ

小中学校へ扇風機を設置

「沈黙考」ワンポイント解説

近年、夏場には40度を超えるような猛暑が続いています。こうした中、より良い教育環境を実現するため、市では、「市内小中学校への扇風機設置事業」を行います。

深谷のまつり！
今年も、キターー！！

第59回深谷七夕まつり

7月10日(金)～12日(日)

午前10時～午後9時（今年は終了時間が1時間早まっています）

- ところ 中山道を中心とした商店街地域
- 見どころ にぎやかに彩られた会場では、飾り付けコンクールをはじめとした、さまざまなイベントが行われます。
- 問い合わせ 市観光協会（☎575-0015）



七夕まつり協賛「書道展」

7月4日(土)～12日(日)

- ところ 深谷上柴ショッピングセンター
- 問い合わせ 市書道連盟事務局 矢澤さん（☎574-2906）



第18回ふれあいカーニバル

7月19日(日)

午後4時～9時（雨天決行）

- ところ 岡部駅前通り
- 見どころ 神輿をはじめ、屋台囃子や太鼓演奏、八木節踊りなど、楽しいイベントが盛りだくさんです。
- 問い合わせ おかべふれあいカーニバル実行委員会事務局（岡部商工会内・☎585-3750）

第14回深谷まつり

7月25日(土)

- ところ JR深谷駅前・深谷駅通り
- 見どころ 駅通りでのみこしパレードにはじまり、YOSAKOIソーランや深谷の踊り流しが盛大に行われます。夕方からは、夜のみこしパレード、さらには深谷の夏の夜を彩る山車・屋台による曳き回しや叩き合いが、駅北口ロータリーや「おまつり広場」を中心に行われます。
- 問い合わせ 市観光協会（☎575-0015）



SPOT →
一番囃子の抽選!!

祭 いらぶしゃさい!!! 祭



第15回深谷花火大会

8月2日(日)

午後7時～9時（雨天の場合9日(日)）

- ところ 荒川河川敷（植松橋下流）
- 問い合わせ 深谷花火大会実行委員会事務局（川本商工会内・☎583-2222）

